

あつぎ市議会だより



第266号 発行日/2024年2月1日 発行/厚木市議会 編集/広報広聴特別委員会 〒243-8511 神奈川県厚木市中町三丁目17番17号 ☎046(225)2700

12月定例会議

組織改正と給食費無償化の条例改正を可決

パレスチナ自治区ガザ地区における平和の早期実現を 求める決議を全会一致で可決

第7回会議（12月定例会議）は、11月30日から12月22日までの23日間で開かれました。

市長から初日に提出された議案は、条例の制定・改正・廃止のほか、工事請負契約の変更、指定管理者の指定、令和5年度一般会計・後期高齢者医療事業特別会計・国民健康保険事業特別会計・介護保険事業特別会計・病院事業会計・公共下水道事業会計補正予算の20議案です。

このうち、初日に採決し可決した令和5年度一般会計補正予算（第5号）を除く19議案は、質疑終了後、所管の常任委員会に付託されました。第2日から第4日までの3日間は、議員22人が

登壇し、一般質問が行われました。第4日には、市長から「動産の取得について」の1議案が追加提出され、質疑終了後、総務企画常任委員会に付託されました。また、休会中に各常任委員会・分科会が開かれ、付託された議案や請願・陳情に対し、慎重な審査が行われました。

最終日、付託された各常任委員長から審査結果が報告され、討論の後、採決し、委員会に付託された全議案を可決しました。さらに議員から「パレスチナ自治区ガザ地区における平和の早期実現を求める決議について」の議案が提出され、可決しました（本会議の審議結果は8面を参照）。

条例の制定

可決した条例の制定議案は1件です。

◎教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、教育に関する事務の職務権限の特例を定めるための制定

条例の改正

可決した条例の一部改正議案は7件です。

◎部等設置条例 令和6年4月1日に組織改正を行うための改正
◎職員の給与に関する条

条例の廃止

可決した条例の廃止議案は1件です。

◎昭和天皇の崩御に伴う厚木市職員の懲戒免除等に関する条例 所期の目的を達成したため廃止

工事請負契約

可決した工事請負契約の変更議案は1件です。

◎都市計画道路厚木環状3号線交差点改良工事道路に埋設された占用物の移設に伴い、仮設道路の設置回数を変更することなどにより、契約金額を6億142万7200円（9090万7300円増）に、工期を令和6年8月30日まで（6カ月延長）に変更するもの

指定管理

可決した指定管理者の指定議案は3件です。いずれも期間満了に伴い、新たに指定するものです。

◎市営自転車等駐車場（令和6年4月1日から5年）
◎市営自動車駐車場（令和6年4月1日から5年）
◎市営体育施設（令和6年4月1日から3年）

動産の取得

可決した動産の取得議案は1件です。

◎荻野運動公園に設置する移動式バスケットゴール、ショットクロック（各2組）を取得するもの

補正予算

可決した補正予算議案は、一般会計2件のほか、後期高齢者医療事業特別会計、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、病院事業会計、公共下水道事業会計各1件です。

【一般会計補正予算（第5号）の歳出内容】

◎物価高騰緊急支援給付金給付事業費など 物価高騰の影響を受け、特に負担感の大きい住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり7万円を支給するための措置

●補正後の予算額 100億4938万6千円（15億8616万3千円増）
【一般会計補正予算（第6号）の歳出内容】

◎財政調整基金積立金ふると納税等分・ふるさと納税推進事業費 寄附額が当初の見込みを上回ることによる増額

◎電気通信格差是正事業費補助金過年度返還金 平成10年度に交付を受けた情報プラザに係る補助金の返還が生じることによる措置

◎自転車ヘルメット購入助成事業費 申請が当初の想定を上回ることによる増額

◎自動交付機・コンビニ交付事務費（戸籍住民基本台帳費） 証明書発行数が当初の想定を上回ることによる増額

2面中段に続く

主な内容

- ◆一般質問 2～6面
- ◆広報広聴特別委員会から 3面
- ◆決議 6面
- ◆委員会・分科会の審査 7面
- ◆本会議の審議結果 8面



『冠雪する大山』（小野）＝大坪 政文 様 撮影



市政に関する 一般質問 要旨

12月定例会議では、12月6日、7日、8日の3日間にわたり、議員22人が一般質問を行い、市政全般の施策について市長などの考えを問いました。主な質問と答弁の要旨を紹介します(2~6面)。

新たな総合計画を 策定する考えは

ネクストあつぎ 神子 雅人議員

問 総合計画を見直す必要に迫られていると感じているが、新たに策定する考えは。

答 市長 これからのまちづくりの方向性を総合計画に位置付け、明確に示す必要があるという考えに至った。任期中の策定を目指していく。

投票率向上に向けた新たな取り組み

問 期日前投票の投票時間見直しの検討は。

答 選挙管理委員会事務局 早朝の出勤ピークや夜の帰宅時間に合わせた時間の拡大については、他市の実施例も踏まえ、研究していきたい。

問 市政に参加している姿を子に見せる子連れ投票を推進する考えは。

答 選挙管理委員会事務局



務局長 市民意識調査によると、令和4年の参院選挙から4回の選挙で、18歳未満の子どもを投票所に連れていったことのある保護者の割合は約4割であったため、制度の周知に努め、投票率向上につなげていきたい。

鳥獣による農産被害対策

問 被害への対応は。

答 市長 県央姉妹都市構想の一環として締結した、県央やまなみ地域における広域連携の強化に関する協定を踏まえ、対策を推進していく。

問 人里の環境整備は。

答 環境農政部長 野生鳥獣を人や里山に引き寄せないためには、市民と行政が一体となった継続的な環境整備活動が重要だと考える。また、民

市民相談の現状と今後の課題は

ネクストあつぎ 山口 保子議員



問 市民の方から「市民相談をしたら、相談の内容を説明している途中でいろいろな課題を紹介され面倒だ」など厳しい意見が耳に入るが、現状と課題は。

答 市長 専任の市民相談員などによる一般相談と、弁護士など専門家による特別相談を実施している。近年、相談内容も複雑多様化しているため、今後も、相談者に寄り添った対応を心掛けるとともに、ニーズに応じ

問 市民 専任の市民相談員などによる一般相談と、弁護士など専門家による特別相談を実施している。近年、相談内容も複雑多様化しているため、今後も、相談者に寄り添った対応を心掛けるとともに、ニーズに応じ

保育環境の充実

問 病児保育の現状

住宅地への防犯カメラ設置と設置基準の見直しは

新政あつぎ 高村 真和議員



問 犯罪件数の変化は。

答 協働安全部長 令和5年9月末時点の対前年比で215件、28・2割増加している。

問 行方不明者数は。

答 協働安全部長 警察から依頼のあった防犯行政無線の放送件数は、11月末時点の比較で令和3年度15件、4年度12件、本年度19件である。

問 有地の放任果樹などの対策は、近隣市町村の共通課題であるため、県央やまなみ地域の自治体が一

は。また、保育士不足の対策は。

答 市長 病児保育は、平成30年3月に事業を開始し、多くの保護者の子育てと就労の両立を支えている。また、保育士不足の対策は、奨学金返済など3つの助成金の支給のほか、保育士等就労支援給付金や保育士等雇用サポート事業補助金の交付など、さまざまな支援に取り組んでいる。

問 今後、子育て、教育で選ばれるまちの実現に向けて、従前の支援策を大幅に拡充するなど、保育環境の整備に努め、より質の高い保育の提供を目指していく。

答 自治会館などへ設置を働き掛けてはどうか。

答 協働安全部長 設置相談の際に補助制度を説明しているが、設置に至らない場合もあるため、効果的な設置場所の情報共有していく。

問 公園を生かした観光振興

答 七沢森林公園などの大きな公園とあつぎ温泉郷を連携させ、地域のブランド化を図る考えは。

答 産業振興部長 近隣観光施設に立ち寄ってもらえる方策を研究する。

問 地方公共団体における専門的知見や人材の不足への対応策は。

答 環境農政部長 人材育成と同時に、民間の知見を最大限活用した施策の展開が必要と考える。

1 面下段から続く

◎介護保険事業・国民健康保険事業・後期高齢者医療事業特別会計繰出金、公共下水道事業会計負担金 職員給与と改定に伴う増額

◎福祉施設・保育施設等・医療機関等光熱費等高騰対策交付金 物価高騰の影響を受けている施設などを支援するための措置

◎理髪、はり・きゅう・マッサージ助成事業費 利用者数が当初の想定を上回ることによる増額

◎地域介護・福祉空間整備等補助金 施設が行う施設・設備などの整備に係る国補助金の交付が決定されたことによる措置

◎子ども医療費助成事業費 インフルエンザの流行などに伴い、医療費増加が見込まれることによる増額

◎放課後児童クラブ運営事業費 支援員の処遇改善・増員や受け入れ拡充のための施設整備を進めることによる増額

◎定期予防接種事業費 子宮頸がん予防ワクチンの接種が増加傾向にあることなどによる増額

◎畜場、小・中学校、シティプラザ、南毛利、猿ヶ島スポーツセンター、及川球技場維持管理事業費 光熱費の高騰に対応するための増額

◎畜場LED化推進事業費 国の交付金を活用し、照明器具のLED化を進めるための措置

◎集積所環境整備事業費 ごみ集積所の折り畳み収納枠の新設や交換を迅速に行うための増額

◎地域計画策定推進事業費 県補助金を活用し、農業の在り方や農地の具体的利用について、計画を策定するための措置

◎生活道路整備事業費 南毛利スポーツセンターの法面崩落防止工事と一体的に整備するための増額

◎親元近居・同居住宅取得等支援事業補助金・若年世帯住宅取得支援事業補助金 申請が当初の見込みを上回ることによる増額

◎物資集積拠点整備事業費 大規模災害時の物資集積拠点である荻野運動公園の機能を強化するための措置

◎小学校・中学校、体育施設維持補修事業費 不具合が生じている施設を修繕するための増額

◎単独調理場維持管理事業費 不具合が生じた備品を更新するための増額

◎公民館維持補修事業費 空調設備などを修繕するための増額

◎遺跡・史跡公園事業費 山中陣屋跡史跡公園と登山古墳史跡公園内の樹木剪定などのための増額

◎職員給与費 人事院勧告に沿って改定するもの

◎議会費 議員報酬などを増額するもの

●補正後の予算額 1022億2098万7千円

●補正後の予算額 13億7160万1千円増(13億7160万1千円増)

【後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)歳出内容】

●補正後の予算額 36億4382万7千円(82万7千円増)

【国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)歳出内容】

●補正後の予算額 22億714万9千円(307万9千円増)

【介護保険事業特別会計補正予算(第1号)歳出内容】

●補正後の予算額 17億2371万8千円(2億18万2千円増)

【病院事業会計補正予算(第1号)の内容】

●補正後の収益的支出予定額 118億7330万円(7830万円増)

【公共下水道事業会計補正予算(第1号)の内容】

●補正後の資本的支出予定額 30億5759万1千円(94万5千円増)

●補正後の収益的支出予定額 65億1688万円(433万4千円増)

●補正後の資本的支出予定額 30億5759万1千円(94万5千円増)

●補正後の資本的支出予定額 30億5759万1千円(94万5千円増)

議員提出議案

可決した議員提出議案は1件です(6面参照)。

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定状況は

無会派 栗山 香代子議員



令和6年度から始まる計画(第9期)の策定状況は。

市長 市民8300人を対象に実態調査をしたほか、関係団体などから意見を伺い、進めてきた。本市の附属機関である保健福祉審議会の答申を踏まえ、令和5年12月27日までパブリックコメントを実施している。

計画の特徴は。

福祉部長 地域包括ケア社会の実現を目指し、介護予防や認知症施策などを重点的に推進す

いることから、本市の国保財政の状況と被保険者の負担とのバランスを考慮しながら、県とともに効率的な事業運営に努めていく。

市立病院の救急対応 救急需要にさらに対応していく考えは。

病院事業局長 経営計画の重点項目として急性期医療の充実を掲げており、救急体制強化に積極的に取り組んでいる。

救急専門の医師を育成する考えは。

病院事業局長 医師の働き方改革などで難しい状況だが、引き続き人材確保に取り組む。

保育士の確保に向けた現状と課題は

無会派 津森 英里花議員



導入を考えている保育士登録制度の内容は。

子ども未来部長 ホームページに登録した保育士に求人情報を知らせるものである。茅ヶ崎市を参考に、登録しやすく情報を受け取りやすい方法を研究し、より良い制度を導入したい。

保育士等就労応援給付金(あつぎ手当)に対するアンケート結果から分かったことは。

子ども未来部長 現状、クラブ運営に支障はないが、受け入れ拡大や課題のある子どもへの

対応、指導員の高齢化など人材不足の状況がある。

市内の不登校支援機能として、空き教室を活用した安心できる居場所づくりの取り組みであり、本年度から支援員の配置日数を増やしている。

児童発達支援センターの受け入れ拡充の考えは

公明党 寺岡 まゆみ議員



手厚い療育を行うため、作業療法士、心理士などの専門スタッフがいるひよこ園の受け入れを拡充する考えは。

福祉部長 現在は、法で定める十分な床面積、必要な環境が確保できない状況であるが、入園希望者は増加傾向であるため、今後、拡充規模に合わせた体制などを調査研究していきたい。

障がい児保育体制の強化 障がい児の保育所入所状況は公立、民間ともに上昇傾向だが、特に

配慮が必要な重度心身障がい児、自閉症や多動症などの子どもを受け入れるには、民間では職員の配置が難しい。保育施設や保護者から、公立で担ってほしいとの声があるかどうか。

子ども未来部長 公立保育所が担うべき役割として積極的に体制を整え、対応していく。

オーバードーズの防止 市民への薬物乱用防止の啓発活動状況は。

市民健康部長 令和5年7月に本厚木駅北口広場で実施した街頭キャンペーンに参加した。

学校、教育現場での薬物乱用防止教室の開催状況と内容は。

学校教育部長 保健の学習の中で、写真やイラスト、話し合い活動などを通じて、危険性や健康への影響などを考え、理解を深めている。

若者がオーバードーズに陥る心の病や寂しさに対応する相談窓口はどういうものがあるか。

市民健康部長 健康づくり課の相談窓口や健康相談ダイヤル24のほか、県の依存症電話相談などがある。

一般市販薬の過剰摂取を調整していく。

都市計画の考え方 公共施設最適化基本計画に記された小学校の統廃合は、学区内の人口減少も大きな理由と考

える。飯山小学校区を市街化区域にする計画はなかったのか。

保育士の確保、処遇改善の取り組み状況は

あつぎの会 高橋 伸也議員



近隣市でも保育士の就労給付金制度が開始され、他市への就職者も出てきているが、給付金を増額する考えは。

子ども未来部長 保育士の確保が非常に厳しい中、市町村間の競争も激化しており、処遇面での違いが雇用に与える影響は大きい。改善に向けて取り組んでいきたい。

支給対象を広げる考えは。

子ども未来部長 調理員や栄養士、事務員が協力して最善の保育の提供に努めているが、保

育士確保が困難さを増し、制度の目的を果たすまでに至っていない。まずは保育士確保に焦点を当てた事業を進めたい。

通学路の安全対策 厚木清川線から小鮎川へ下る道路は、道幅が狭く危険であるが、拡幅する考えは。

道路部長 地元自治会から歩道整備要望があったものの、河川法などの制約もあり、路線北側の拡幅について自治会や地権者と調整したが合意形成が整っていない。引き続き、整備手法など

広報広聴 特別委員会から

市議会では、開かれた議会を目指し、11月13日と16日に「第18回議会報告会 市民と議会の意見交換会」を開催しました。

今回は、団体対象として、厚木市老人クラブ連合会の理事の皆さまと対面で行い、本年度の予算と昨年度の決算報告、タクシードライバーなどの高齢者施策などの紹介をした後、活発に意見交換を行いました。

もう一方では、個人を対象に「教えて！選挙に行かない理由」をテーマにオンラインで実施。チャット機能を活用し、意見を伺うことに徹した新しいスタイルを導入しました。

新型コロナウイルスの感染が今なお残る中の開催となりましたが、皆さんの貴重なご意見をお聞かせいただき、今後の活動の参考にしてまいります。今後より身近な議会を目指し努力してまいります。

(山崎由枝)

市議会ホームページはこちら

市議会ホームページはこちら

市議会の情報はホームページから

- ◆インターネット議会中継 本会議、委員会の生中継・録画配信
- ◆会議録 本会議、常任・特別委員会、子ども議会
- ◆市議会だより バックナンバー、表紙写真募集案内
- ◆その他 会議日程・結果、請願・陳情、傍聴案内など



市議会ホームページはこちら

政治家の寄付は禁止 有権者が求めることも禁止

- ◆開店祝や葬式などの花輪・供花
- ◆入学・卒業祝やお中元・お歳暮、お見舞
- ◆祭り、集会、旅行などへの寸志や飲食物の差し入れ
- ◆秘書などの代理出席による結婚祝、葬式の香典



プリコンセプションケアを普及啓発する考えは

公明党 白川 美作江議員



保健センターでの位置付けは、可能か。

市民健康部長 性は性と健康の相談センターを運営し、特設サイト開設や妊娠SOSの活用など、不妊・不育専門相談センターの設置などを行っている。市ではホームページでこれらの関連情報を提供のほか、子宮頸がん検診の案内でのQRコードによる周知やSNSの活用などで広く伝えていきたい。

子どもたちの姿や家族の思いを知ってもらうために平塚市とかながら連携して取り組む。

市民健康部長 低出生体重児保護者の会の活動の一環として、写真の展示などに協力することとは可能と考える。

私道の市道編入に向けた要綱見直しへの考えは

公明党 川口 仁議員



経年劣化により危険な状態の私道が多いが、ほとんどが要件に適合せず市道に編入できない。編入に関する取り扱いについて、要綱の見直しや緩和が必要だと思ふが、考えは。

道路部長 緩和に向け、交差点内の植樹帯部分の有効利用を含め、道路車線の見直しが可能かなど、現状把握のための測量や予備設計、交通量調査を実施している。

内陸工業団地内の安全対策と周辺の交通混雑対策 団地に進入する際の交差点について、東外三丁目交差点の混雑をどのように考えるか。

インクルーシブ公園の設置は可能か

新政あつぎ 望月 真実議員



現状の公園は、障がいがある子、日本語を母語としない子などには思うように遊べない実情がある。遊具周辺や道路環境、駐車場環境など、定義を確立し、どんな子でも成長機会を損なわず一緒に遊ぶインクルーシブ公園づくりを目指す考えは。

市長 今後も年齢や障がいなどにかかわらず、皆さまと一緒に楽しめるインクルーシブな公園づくりを進めていく。

インクルーシブ公園 園設置のガイドラインを策定する考えは。

防災都市づくり計画の今後の活用は

ネクストあつぎ 堀江 克己議員



具体的活用方法。 令和5年3月に策定した本計画には、防災・減災対策に加え、被災後の復旧復興まちづくりを進めるための手法や市民の皆さまとの協働による復興体制などを位置付けており、今後は、地域ごとの復興まちづくり訓練を予定している。

相模原大規模の渋滞緩和 都市計画道路の完成が急務であるが、厚木環状3号線の今後の整備計画は。

道路部長 令和6年度末の供用を目指し、

ワルトレベーターサークルpenaが開催した写真展を本市でも開催できないか。

市民健康部長 低出生体重児保護者の会の活動の一環として、写真の展示などに協力することとは可能と考える。

子どもの読書環境 読書の入り口として最適と思われる子ども向けの新聞を児童館に配架することは可能か。

子ども未来部長 ニーズを把握し、必要に応じて対応していく。

女性やカップルに将来の妊娠のための健康管理を促す取り組み。

市議会 厚木市 議事録 検索 QRコード

コミュニティ交通導入の進捗状況

市は交通不便地域を調査し導入を進めているが、アンケート調査を行う予定は。また、愛川町のコミュニティバスとの連携の進捗状況は。

まちづくり計画部長 上依知地区、下依知地区、宮の里地区で調査する予定である。また、藤塚団地や上依知地区で需要があれば、愛川町と再度話をしていきたい。

学校給食の食べ残し 増加していると考えるが、改善の方策は。

教育総務部長 児童・生徒に食の大切さを啓発するとともに、保護者を対象とした給食試食会や、家庭での食生活に関する情報提供などを行っている。また、児童・生徒が給食委員会などの活動で自主的な取り組みも実施している。今後も食べ残しの減量に向け、積極的に取り組んでいく。

一般質問 主な質問と答弁

インフルエンザ予防接種費用の助成対象拡大は

公明党 山崎 由枝議員



厚生労働省は13歳未満の接種を原則2回としており、低年齢の子どもの負担が大きいこととなるが、最近の物価高にあつて、経済的負担を理由に予防接種をためらう家庭もある。子育て世帯の経済的負担を減らすため、小学6年生までの助成対象年齢を高校3年生まで拡大する考えは。

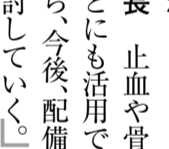
市長 本市では1回の接種に1000円を助成し、流行期における重症罹患者の増加防止に努めるとともに、子育て世帯の経済的、心労的な負担の軽減を図っている。発症予防や感染拡大防止に一定の効果が見込まれることから、子ども医療費助成の対象年齢までの拡大を検討している。

AEDの維持管理 救急時時に胸を覆うなど、ライフラインを確保するため、AEDの収納箱に三角巾を配備する考えはあるか。

消防長 止血や骨折の固定などにも活用できることから、今後、配備について検討していく。

安心・安全なまちづくりへの取り組み

ネクストあつぎ 田口 孝男議員



児童を犯罪から守るため、公園や児童館のほか、通学路沿いの公共施設に防犯カメラを積極的に設置している。

協働安全部長 現在、地域の方々に児童・生徒の見守り活動や青パトでの防犯パトロールなど犯罪が起りにくい環境づくりに貢献していただいている。地域の目が行き届いていることが一番の防犯対策だが、カメラの設置によりさらに防犯効果が上がるものとして認識している。地域の実情を把握し、小・中学校をはじめ自治会や警察などの意見を伺いながら必要に応じて設置していきたい。

妻田薬師バス停付近における清水歩道橋の階段位置の変更改修工事が着工されたが、迂回路の安全対策は。

道路部長 工事に伴い周辺の交通環境が大きく変化していることから、令和5年12月中旬に路線の引き直しやラバーボールの設置など、可能な限り安全対策を実施していく。また、地域の方々に不便をかけるため、工事の工程管理を徹底し、早期完成に努め、最小限の影響で済むよう進めていく。

通学路の安全対策について効果的な対策は。

市長 歩道整備や生活道路を拡幅することにも、小・中学校を中心としたグリーンベルトや防護柵設置などの対策を実施している。今後も、地域の実情を踏まえ、関係機関と連携し、速度抑制効果のあるランプなどの設置により、さらに安全向上を図っていく。

プロポーザル方式(企画競争入札)における課題は

あつぎ一新 岩崎 一弥議員



全国の自治体で先駆け、温暖化防止普及啓発のポータルサイトを構築したが、サイトを構築すると動画が4点、文書が3点など15ページ程度である。1200万円かけて構築された内容とは到底思えない状況であり、非常に高額となつてしまつた印象があるが、市の見解は。

環境農政部長 サイの構築だけでは不十分で、市全体における脱炭素意識の向上、実践を目的としたプラットフォームの全体設計をするコンサルティング費用、コンテンツの企画など諸経費が全て含まれているためであると認識している。

この業務委託は参考見積書を取ってきた事業者が1者だった点が問題だと感じている。複数の見積書の取得を必須にできないか。

厚木市カーボンニュートラルポータルサイト

環境保全型農業の促進に向けた取り組み状況は

あつぎの会 高田 昌慶議員



オーガニックで野菜を作る農家に向けて、国の補助金を獲得する支援をすべきと繰り返し述べてきたが、状況は。

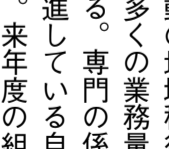
環境農政部長 本年度、農業者3人から国の「みどりの食料システム戦略」に基づいた交付金活用申請があった。

慣行農業から有機農業に転換したいと申し出があった場合、それに伴う計画策定などの支援を行うのか。

環境農政部長 生

部活動の地域移行の進捗と今後の予定は

新政あつぎ 高橋 知己議員



基本計画は誰がいつまでに策定するのか。

学校教育部長 現在、教育委員会を中心に課題の抽出などを行っており、活動場所や指導者の確保・報酬、傷害に關する保障など数多くの課題が見えてきた。今後、関連部署や受け入れ先となるスポーツ・文化芸術団体、企業など多くの方々の理解を得ながら、国が示す3年の改革推進期間が終わる令和7年度中に策定ができるよう進めていきたい。

外国籍市民の支援に向けた言語の対応は

あつぎみらい 松田 則康議員



外国人労働者の増加に向け言語の対応は。

市長 現在の事業から外国語対応の相談などはないが、今後は現状とニーズの把握に努める。

通訳機やボランティア通訳の実態と今後の対策は。

市長 日本語教室や外国人相談を開設し、通訳ボランティアの配置や本庁舎に携帯型通訳機を設置している。今後も環境整備に努める。

給食費無償化 市長の公約の学校給食費無償化の今後は。

市長 令和6年4月からの実施に向け、条

総務部長 見積書は、事業の予算や設計金額の算出に伴う市場価格を把握するため、提出を依頼することがある。その際は、事業者の負担を考慮する必要があるが、複数の事業者から徴取することは可能である。

審議する技術提案書特定委員会に、深い知識を持つ委員が複数名いることにより、今回のような世間一般の相場に合わない金額での発注が防げると考えている。今後、専門性や特殊性が高い案件は、外部の有識者を委員として審議に加えてはどうか。

総務部長 業務の内容、重要度、規模に応じ、委員に充てることは可能である。外部委員の積極的な活用について働き掛けていきたい。

産者の理解や協力、周辺の管環境やコスト、安定した取量など、さまざまな課題がある。

教育総務部長 補助制度が適用され、価格などの要件を満たすことができれば可能と考える。

農家には認証コストが大きな問題となっている。戦略に認証コストなどを負担する項目があるが、利用は可能か。

環境農政部長 有機JAS認証を受けた農場に対しての支援がある。認証の取得を目指す農業者には制度の仕組みなどを分かりやすく説明していきたい。

法律で認められた化学肥料と農薬を使用する一般的な栽培方法で行う農業

私たちの活動の機会が縮小していく中で、市としてスポーツ、文化芸術の聖地づくりを進めても、それは砂上の楼閣になりかねない。市の考えは。

学校教育部長 部活動の地域移行については、スポーツ、文化の聖地を目指す本市にとって重要な施策として取り組むべきものと考えており、それを見据えた組織改正も提案している。これまで教育文化として根付いている部活動ではあるが、行政として市長部局を含め、市の実情に合った地域移行となるよう取り組んでいく。

将来的に全面委託を検討しているか。

循環型社会推進担当部長 現在、資源と燃えるごみの収集を一部委託している。全面委託については、慎重に、事業者の意見なども聞き、進めていく必要があると考えている。個人からの借地は、折衝しているが購入に至っていないと承知している。学校用地は、借地ではなく市の財産にする考えがあるが、相手方があるため、教育委員会でも議論し、庁内で協議する必要があると考えている。

食品廃棄物の処理方法 1日19万5千円の運搬固定費と処分費1割当たり30円の支出は放漫財政である。市民にとって何の効果があるのか。

石塚副市長 令和8年度までの計画の見直しの中で研究していく。

石塚副市長 令和8年度までの計画の見直しの中で研究していく。

樹木を生かしたまちづくりのガイドライン策定は

あつぎの会 名切 文梨 議員



厚木中央公園工事で高木約60本を伐採すると新聞報道されたが、樹木医の意見を聞いたのか。

都市整備部長 今

回はリニューアル工事のため、聞いていない。規模や特性から民間業者に維持管理を委託している萩野運動公園などは必要に応じて業者が樹木医に相談をするが、それ以外の公園は市が直接管理をしており、利用者の安全確保や防犯面を最優先としている。なお、公共工事の品質確保の促進に

関係する法律の趣旨にのっとり国が登録認定した民間資格を有する者が植栽を計画した。

樹木を伐採するなら、市民の誰もが納得する理由でなければならぬ。樹木の適正管理の指針となるガイドラインを策定してはどうか。

都市整備部長 関係部署と連携し検討する。

騒音・振動対策 県生活環境の保全等に関する条例の基準値を超えた場合の対応は。

環境農政部長 継続

交通混雑解消と利便性向上を実現する取り組みは

あつぎみらい 松本 樹影 議員



鷹尾東入口交差点の付加車線増設に向けた用地交渉の経過と、交差点迂回の取り組みは。

道路部長 地権者に事業内容や効果について説明しており、合意形成に向け、引き続き丁寧

に説明していく。また、交差点の交通負荷を軽減するために、迂回できる周辺の生活道路を整備することで、交通の分散化ができないか検討する。

上萩野の下清田谷

橋両岸の道路整備に合わせ、橋の位置を検討することは可能か。

市が管理する河川の取り組みは。

都市整備部長 定

続いて指導し、改善されない場合、条例に基づき勧告などの措置を行う。

被害が広範囲でない適用されないのか。

環境農政部長 県

に改めて確認したが、騒音などが広範囲にわたっているれば被害者は1人でも公害として考える。

被害が数年にわた

り続いている地域があるが、どう受け止めるか。

市長 市として、

安心・安全な、生活しやすい環境に向け、しっかりと取り組まなければならない。今後、より一層、生活環境を守るといふ思いを強くしている。



景観まちづくりにおける現状と今後の計画は

ネクストあつぎ 奈良 直史 議員



本市では中心市街地を中心に通りに名前を付けているが、シンボルロード整備など街路を演出することへの見解は。

まちづくり計画部

あつぎ大通りや一番街などの11路線と厚木中央公園などの5つの公園を景観重要公共施設に指定しており、本厚木駅周辺歩いて楽しいまちづくり推進計画においても、景観に配慮した歩行空間の整備を位置付けている。今後、それぞれの通りの特徴を演出する景観

まちづくり計画部長 計画に基づく重点路線は、事業の進捗により景観重要公共施設に指定するなど、景観計画に

生活利便性の向上に向けた取り組み状況は

きずな 石井 芳隆 議員



中心市街地以外では、日常生活用品を買いやすい商店や診療所などが減少している。特に依知地区では、多くの住民から出店を望む要請が強いが、取り組みの状況は。

まちづくり計画部

出店者に対する補助制度を創設し、本年度、金田に診療所が開業した。引き続きスーパーやドラッグストアの誘致に取り組んでいきたい。

コミュニティ交通

の導入を進める考えは。

まちづくり計画部長 依知地区では、交通

置付けていきたい。

電柱が一本なくなるだけでも、まちの雰囲気は変わる。今後も人に優しい道路空間の形成に努める。

本厚木駅北口の景

観形成を、この先どのように考えていくのか。

まちづくり計画部

デザイン、機能性に優れた街並みに生まれ変わらせるべく、地区計画や景観協定、各種制度の活用を検討するとともに、講習会やワークショップなどの開催を通じて権利者や地域の方々との協働により良好な景観形成に取り組んでいきたい。

まちづくり計画部長 計画に基づく重点路線は、事業の進捗により景観重要公共施設に指定するなど、景観計画に



目指すべき将来の農地利用の姿を明確にし、担い手への農地の集積・集約化を目的とした地域計画を策定するため、意向調査を行った。

スポーツの普及

スポーツをする機会や始めるきっかけをつくる取り組みは。

社会教育部長 誰

でも気軽に参加できるスポーツイベントや幼児から中学生までを対象としたスポーツアカデミー事業、各地区の運動会、市民健康まつりなどを通じて普及に努めている。

環境農政部長 農業機械導入への助成、農地の貸し借りを行った場合の奨励金交付、田んぼの農業基盤整備などを実施して支援している。

農地利用のアンケートを実施した目的は。

農業委員会事務局

点字・音声の議会だより

視覚に障がいのある方や活字を読むのが困難な方のため、「市議会だより」の音声版（CD）と点字版（紙）を貸し出しています。希望される方は、議会事務局にお声掛けください。



議員提案第6号 パレスチナ自治区ガザ地区における平和の早期実現を求める決議

パレスチナ自治区ガザ地区を支配するイスラム組織ハマスとイスラエル軍との武力衝突が始まり、2か月余りが経過した。

双方の攻撃の応酬は、特にパレスチナ自治区ガザ地区において、甚大な被害をもたらし、既に1万8千人を超える犠牲者が出ている。中でも、子供たちに大きな犠牲が出るなど、たいへん悲惨で悲劇的な状況が続いている。

こうした中、国連総会は12月12日に、緊急特別会合を開き、人道目的の即時停戦のほか全ての人質の解放や人道支援の確保などについて、日本を含む153か国の賛成により決議した。

厚木市は、平和で安全な国際社会の実現に向けて、「国際平和と核兵器廃絶を求める都市」を宣言しており、世界の恒久平和は、市民の共通の願いである。

ここに、厚木市議会は、国連決議の早急かつ完全な履行により、事態の鎮静化と人道状況の回復がなされ、平和が早期に実現することを強く求める。

以上、決議する。
令和5年12月22日

厚木市議会

委員会・分科会の審査

条例改正・補正予算など

—主な質疑と答弁—



条例改正や令和5年度補正予算などの議案について、委員会・分科会での主な質疑と答弁を紹介します。

総務企画

〇部等設置条例の一部を改正する条例

問 今回の組織改正の目的は何か。

答 社会的な課題に対し、迅速かつ的確に対応し、行政手続を円滑に安心して行っていたただけるよう、市民の皆さまのための組織を作ることを目的に検討した。また、「子育て支援の充実に向けた取組の推進」、「福祉サービスの充実」、「教育施策の推進」、「効率的な組織に向けての対応」、「スポーツ、文化・芸術、歴史などを充実させる取組の推進」、「将来を見据えたまちづくりの推進」、「産業や農業の充実に向けての対応」、「新庁舎移転を見据えた対応」の8つの視点を掲げて見直しを行った。

問 大胆に部・課を減らしているが、仕事量は減っていないので、それぞれの部・課の所掌が増

えていることになる。職員数は全く変わっていないが、市民サービスを下させないようにするための今後の展開は。

答 今後、社会保障分野などで人手がいる仕事なども増えるため、退職補充をしっかりと行い、定年延長制度を活用して知見のある職員を増やし、会計年度任用職員制度なども上手に活用しながら、しっかりとした体制を築いていきたい。

市民福祉

〇市営自転車等駐車場指定管理者の指定

問 どのような課題やニーズがあるのか。

答 自転車盗などの犯罪や施設の老朽化、自転車の大型化への対応といった課題がある一方、事故防止など安全面への対応といったニーズがある

ため、指定管理者と調整しながら進めていきたい。

〇一般会計補正予算(第6号)

問 放課後児童クラブ運営事業費増の内容は。

答 待機児童解消のため、令和6年4月の受け入れ拡大に向けた場所と人の確保などに必要な経費を増額するもので、具体的には、施設の拡大、指導員の増員、賃金改定を含めた処遇改善への対応など、受け入れ環境の向上を図るものである。

問 子ども医療費助成事業費増の理由は。

答 月6000万円ほどの支出を見込んでいたが、夏以降インフルエンザなどの影響と思われる医療費増加があり、月8000万円ほどの支出が続いているためである。

問 自転車安全促進事業費について、ヘルメット購入助成に係る申請者の年齢などの内訳は。

答 幼児が438件、小学生が492件、中学生が105件、高校生が41件、成人が1097件であり、成人のうち高齢者が568件である(令和5年10月現在)。

〇病院事業会計補正予算(第1号)

問 収益的支出について、病院は公営企業法全部適用であるが、支出がこれだけある中で収入をどのように考えるのか。

答 病院事業については、診療報酬が国で定められた公定価格であるため、

歳入が一切変わらない中、増え続ける歳出に対応していかなければいけない状況が数年続いている。今回の補正により、赤字予算に転じているが、未収金の減少などもあり、キャッシュベースでは増加が見込まれているため、当面日々の決済などで大きな影響は生じない見込みである。

〇学校給食費に関する条例の一部を改正する条例

問 学校給食費無償化のこれまでの経緯は。

答 少子化が進む中、子どもたちの安心で充実した食の環境を確保する取り組みとして、また市長公約として、市内で制度を検討した。条例改正が必要であり、市民参加手続として、学校給食センター運営委員会を開催するとともに、無作為に抽出した18歳以上の市民約4500人にアンケートを実施した。回答中81・4割もの市民の皆さまが無償化は必要と考えていることが分かった。さらに、パブリックコメントでは、12件の意見を頂いた。こうした手続きを経て、条例改正案を提案したところである。

問 さまざまな理由で給食を食べていない児童・生徒に学校給食費を還元する考えは。

答 公平性の観点から、学校給食を食べている児童・生徒だけの無償化ということではなく、幅広く対応していく。

〇一般会計補正予算(第6号)

問 集積所環境整備事業費増の理由は。

答 市内のごみ集積所の多くに設置している折り畳み式ごみ収納枠が壊れた場合、自治会長を通して交換や修繕を行っている。本年度は例年より非常に多くの依頼があり、補正予算を計上した。

問 本年度、ごみ収納枠を交換した数は。

答 令和5年12月12日時点で、申請数は419個であり、うち395個は交換済みである。

児童・生徒に学校給食費を還元する考えは。

答 公平性の観点から、学校給食を食べている児童・生徒だけの無償化ということではなく、幅広く対応していく。

〇一般会計補正予算(第6号)

問 若年世帯住宅取得支援事業による転入と市内転居の件数は。

答 転入は令和3年度が43件、4年度が54件、市内転居は3年度が155件、4年度が171件であった。

問 親元近居・同居住宅支援事業による住宅取得と住宅改修の件数は。

答 令和4年度の実績で、親元近居が24件、同居が7件、住宅改修が1件であった。

問 この制度でどのくらい人口増となったか。

答 これまでの合計で、若年世帯住宅取得支援事業は327人、親元近居・同居住宅支援事業は518人となっている。

問 このような動きには、どのような背景があると分析しているのか。

答 令和4年度のアンケート調査における「転居、転入の最も大きなきっかけは」という問いに対して、最も多かった回答は「家族が増えたため」「子どもが成長したため」であるが、「子育て環境を良くするため」という回答も約2割あったことから、子育て支援が充実していることが背景にあると考えている。

都市経済

〇一般会計補正予算(第6号)

問 若年世帯住宅取得支援事業による転入と市内転居の件数は。

答 転入は令和3年度が43件、4年度が54件、市内転居は3年度が155件、4年度が171件であった。

問 親元近居・同居住宅支援事業による住宅取得と住宅改修の件数は。

答 令和4年度の実績で、親元近居が24件、同居が7件、住宅改修が1件であった。

問 この制度でどのくらい人口増となったか。

答 これまでの合計で、若年世帯住宅取得支援事業は327人、親元近居・同居住宅支援事業は518人となっている。

問 このような動きには、どのような背景があると分析しているのか。

答 令和4年度のアンケート調査における「転居、転入の最も大きなきっかけは」という問いに対して、最も多かった回答は「家族が増えたため」「子どもが成長したため」であるが、「子育て環境を良くするため」という回答も約2割あったことから、子育て支援が充実していることが背景にあると考えている。

特別委員会の行政視察

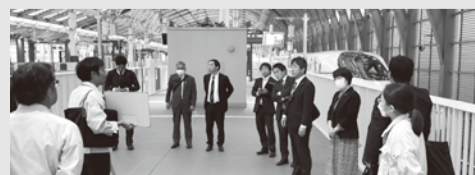
委員会では、所管する事項について情報収集し、専門的知識を深め、優れた施策を市政や市議会運営に反映させるため、先進都市を訪問して調査を行っています。

中心市街地活性化特別委員会
(11月9・10日)

◆長崎県長崎市

調査項目

- ①長崎市役所新庁舎について
- ②長崎駅周辺再整備事業について



広報広聴特別委員会
(11月14・15日)

◆滋賀県大津市

調査項目

- 広報広聴に係る取り組みについて

◆滋賀県甲賀市

調査項目

- モニター会議を通じた議会広報紙づくりなどについて



お気に入りの写真を議会だよりに

募集 表紙掲載写真

市内で撮影した四季折々の風景など、厚木の魅力あふれる写真を募集しています。

今回は、第267号(5月1日発行)に掲載する写真を募集します。

【応募方法】

氏名(ふりがな)、住所、電話番号またはメールアドレス、撮影場所・年月、写真のタイトルを明記の上、3月11日(月)までに議会事務局までメールまたは持参、郵送により提出

※応募作品の中から広報広聴特別委員会で1点を選定します。

【提出先】

〒243-8511 議会総務課 (☎225-2701)

E-mail 7600@city.atsugi.kanagawa.jp



応募についての詳細はこちらから



本会議の審議結果

第7回会議（12月定例会議）提出案件 11月30日（木）議決		各会派などの賛否 ○…賛成、●…反対、―…欠席									議決結果	
		ネクス	公明党	みらい	あつぎ	新政	きずな	一新	無会派A	無会派B		無会派C
議案第84号	令和5年度厚木市一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

◎令和5年11月30日議決時の会派構成など

※議長…遠藤浩一（議長は採決に加わりません）、副議長…高橋豊

※会派等表記、正式名称、議員数、所属議員（__は代表者）

ネクス…ネクストあつぎ（7）：神子雅人、堀江克己、山口保子、奈良直史、田口孝男、高橋豊、瀧口慎太郎 公明党…公明党（5）：川口仁、白川美作江、山崎由枝、遠藤浩一、寺岡まゆみ

みらい…あつぎみらい（3）：渡辺貞雄、松本樹影、松田則康 あつぎ…あつぎの会（3）：名切文梨、高橋伸也、高田昌慶 新政…新政あつぎ（3）：高橋知己、高村真和、望月真実

きずな…きずな（2）：石井芳隆、井上武 一新…あつぎ一新（2）：岩崎一弥、小嶋正博 無会派A…無会派（1）：高田浩 無会派B…無会派（1）：栗山香代子 無会派C…無会派（1）：津森英里花

第7回会議（12月定例会議）提出案件 12月22日（金）議決		各会派などの賛否 ○…賛成、●…反対、―…欠席									議決結果	
		ネクス	公明党	みらい	あつぎ	新政	きずな	一新	無会派A	無会派B		無会派C
議案第71号	厚木市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第72号	厚木市部等設置条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第73号	厚木市職員の給与に関する条例及び厚木市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第74号	厚木市常勤特別職職員の給与及び旅費に関する条例及び厚木市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第75号	厚木市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第76号	厚木市市税条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第77号	厚木市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第78号	厚木市学校給食費に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第79号	昭和天皇の崩御に伴う厚木市職員の懲戒免除等に関する条例を廃止する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第80号	工事請負契約の変更について（都市計画道路厚木環状3号線交差点改良工事）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第81号	厚木市営自転車等駐車場指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第82号	厚木市営自動車駐車場指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第83号	厚木市営体育施設指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第85号	令和5年度厚木市一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第86号	令和5年度厚木市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第87号	令和5年度厚木市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第88号	令和5年度厚木市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第89号	令和5年度厚木市病院事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第90号	令和5年度厚木市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第91号	動産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願第3号	再生可能エネルギーへのエネルギー転換を早急に求める意見書を国に提出することを求める請願	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
陳情第9号	要介護・要支援高齢者について、介護施設を利用した新たな選挙方法の検討を求める意見書を国に提出することを求める陳情	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
陳情第10号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」を国に提出することを求める陳情	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
陳情第11号	私学助成の拡充を求める意見書を国に提出することを求める陳情	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
陳情第12号	私学助成の拡充を求める意見書を神奈川県に提出することを求める陳情	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
議員提出議案第6号	パレスチナ自治区ガザ地区における平和の早期実現を求める決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

◎令和5年12月22日議決時の会派構成など

※議長…遠藤浩一（議長は採決に加わりません）、副議長…高橋豊

※会派等表記、正式名称、議員数、所属議員（__は代表者）

ネクス…ネクストあつぎ（7）：神子雅人、堀江克己、山口保子、奈良直史、田口孝男、高橋豊、瀧口慎太郎 公明党…公明党（5）：川口仁、白川美作江、山崎由枝、遠藤浩一、寺岡まゆみ（欠席）

みらい…あつぎみらい（3）：渡辺貞雄、松本樹影、松田則康 あつぎ…あつぎの会（3）：名切文梨、高橋伸也、高田昌慶 新政…新政あつぎ（3）：高橋知己、高村真和、望月真実

きずな…きずな（2）：石井芳隆（請願第3号賛成、陳情第9号賛成）、井上武 一新…あつぎ一新（2）：岩崎一弥、小嶋正博

無会派A…無会派（1）：高田浩 無会派B…無会派（1）：栗山香代子 無会派C…無会派（1）：津森英里花

11月に議会報告会を開催

市議会では、開かれた議会を目指し、「第18回議会報告会 市民と議会の意見交換会」を次のとおり開催しました。

【総務企画・都市経済常任委員会】

11月13日（月）

市民の皆さんを対象に「教えて！選挙に行かない理由」をテーマにオンラインで実施し、25人が参加。広く参加を呼び掛けるため、本厚木駅前街頭キャンペーンも実施。



通行人にチラシを配布



オンラインによる実施は3回目

【市民福祉・環境教育常任委員会】

11月16日（木）

厚木市老人クラブ連合会の理事の皆さんと「厚木市しあわせクラブ連合会の組織の活性化及び運営について」をテーマに対面で意見交換を実施し、4人が参加。



市役所で行われた議会報告会

2月定例会議の開催予定

日	月	火	水	木	金	土
			21	22	23	24
会議は原則として午前9時に開きます。 【請願・陳情】 2月定例会議で審議する請願・陳情の提出締切日は、2月16日（金）です。			本会議	本会議、予算決算常任委員会	天皇誕生日	
25	26	27	28	29	3/1	2
				一般質問	一般質問	
3	4	5	6	7	8	9
	一般質問		総務企画常任委員会・分科会	市民福祉常任委員会・分科会	環境教育常任委員会・分科会	
10	11	12	13	14	15	16
	都市経済常任委員会・分科会				予算決算常任委員会	
17	18					
	本会議、広報広聴特別委員会					
				インターネット 議会中継	本会議・常任委員会（分科会）・特別委員会のライブ中継が視聴できます。また、会議録ができるまでの間、録画配信も視聴できます。	

